



平成 29 年 5 月 15 日

各 位

会 社 名 株式会社ディー・エル・イー
代 表 者 名 代表取締役 椎木 隆太
(コード番号：3686 東証第一部)
問 合 せ 先 取締役 CFO 川島 崇
(TEL. 03-3221-3980)

事業構造改革等に伴う特別損失の発生、業績予想の修正及び役員報酬の減額に関するお知らせ

当社及び当社の連結子会社は、平成 29 年 6 月期の第 3 四半期決算において、下記のとおり事業構造改革に伴う特別損失を計上することとしましたのでお知らせするとともに、平成 28 年 10 月 4 日に公表しました平成 29 年 6 月期の通期連結業績予想及び個別業績予想につきまして、下記の通り修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 事業構造改革等に伴う特別損失の計上について

1) 固定資産の減損損失の計上

① 業務提携の解消にかかる固定資産の減損損失の計上

当社及び当社の連結子会社である株式会社 W TOKYO (旧株式会社 TOKYO GIRLS COLLECTION) と中国において女性向けファッション EC サイトを運営する Hifashion Group Inc. は、中国市場における日本ブランドのプロモーション・販売を目的とする業務提携をしてまいりましたが、事業パートナー側の戦略変更に伴い立ち上がりが遅れたことにより、今後の事業パートナーの戦略的見直しを行うことを目的とし、当該業務提携を解消いたしました。
当該業務提携の解消による損失として 18 百万円の減損損失を計上いたしました。

② 製作委員会へ拠出している出資金の減損損失の計上

当社が製作委員会のメンバーとして出資している出資金のうち、回収可能性がないと判断されたものについて、回収可能価額まで減損処理を行い、減損損失として 164 百万円を計上しております。

2) 一部映像制作事業からの撤退にかかる事業構造改善費用の計上

当社が受注した一部映像制作事業について、近年の映像制作業界におけるクリエイターの逼迫により、当初見込んでいた人材の確保及び教育が極めて厳しい状況であり、今後も十分な供給体制を構築することが困難であることから、当該制作事業の継続可否について検討した結果、事業の継続が困難であると判断し、一部映像制作事業から撤退することを決定いたしました。これにより対象制作事業で追加的に発生する外注費等により生じる 379 百万円を事業構造改善費用として計上いたしました。

3) 海外子会社の解散及び清算にともなう関係会社株式評価損の計上
 当社は平成 29 年 5 月 15 日開催の取締役会において、当社子会社である DLE America, Inc. 及び夢饗年代股份有限公司 (DLE-ERA) について解散及び清算することについて決議いたしました。これに伴い関係会社株式評価損 44 百万円を計上しております。

4) 保有する有価証券に関する投資有価証券評価損の計上
 当社が保有する有価証券のうち、簿価に比べて実質価額が著しく下落し、その回復があると認められないものについて、減損処理による投資有価証券評価損として 65 百万円を計上いたしました。

2. 繰延税金資産の一部取崩しについて

最近の業績動向を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、その一部を取崩したこと等により、当第 3 四半期連結累計期間において法人税等調整額 18 百万円を計上いたしました。

3. 業績予想の修正について

1) 平成 29 年 6 月期 連結業績予想の修正 (平成 28 年 7 月 1 日～平成 29 年 6 月 30 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	6,641	655	645	492	29.13 円
今回修正予想 (B)	4,286	△887	△910	△1,600	△86.21 円
増減額 (B-A)	△2,354	△1,543	△1,555	△2,092	
増減率	△35.5%	-	-	-	
(ご参考) 平成 28 年 6 月期実績	-	-	-	-	-

2) 平成 29 年 6 月期 個別業績予想の修正 (平成 28 年 7 月 1 日～平成 29 年 6 月 30 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	4,189	587	581	478	28.30 円
今回修正予想 (B)	2,103	△805	△823	△1,433	△77.18 円
増減額 (B-A)	△2,086	△1,392	△1,404	△1,911	
増減率	△49.8%	-	-		
(ご参考) 平成 28 年 6 月期実績	3,079	249	211	142	8.53 円

(業績予想修正の主な理由)

当社の平成 29 年 6 月期の連結業績予想及び個別業績予想につきまして修正を行う理由は以下のとおりです。

①中国大型案件の交渉中止及び国内案件の一部受注見送り等による売上計画の修正

当社が中国において進めてきました動画配信サイト大手との映像制作に関する共同事業案件について、現段階において成約に至らず、また受注自体の確度が不確かであること及びその他国内案件全般についても当社の供給体制が十分に整わなかったことから一部受注の見送り、納品時期の次期への変更を行ったことにより、通期の売上計画を 18 億円ほど減額する修正を行うものであります。

当該案件については半年以上にわたり慎重に企画提案、交渉を行ってまいりましたが、これ以上時間をかけた交渉を行ったとしても受注の確度が不確かな状況が早期に解消される見込みが低いいため、適切な人材リソースの観点から、当該案件については見送ることといたしました。

②中国越境 EC 事業における事業パートナーの戦略的見直しによる売上計画の修正

当社及び当社の連結子会社である株式会社 W TOKYO (旧株式会社 TOKYO GIRLS COLLECTION) と中国において女性向けファッション EC サイトを運営する Hifashion Group Inc. は、中国市場における日本ブランドのプロモーション・販売を目的とする業務提携をしてまいりましたが、事業パートナー側の戦略変更に伴い立ち上がりが遅れたことにより、今後の事業パートナーの戦略的見直しを行うことを目的とし、当該業務提携を解消いたしました。当該影響により越境 EC 事業の立ち上がりが当初見込みから大幅に遅れることにより通期の売上計画を 3 億円ほど減額する修正を行うものであります。

③固定費の増加に伴う営業損失の計上及び事業構造改革に伴う特別損失の計上

当社の中核事業である Flash アニメーションにおいては、低コストかつ短納期で制作することができる事業優位性を生かし、業績を伸ばしてまいりました。需要の拡大に応じ、新規 IP 開発の領域を Flash アニメーション以外の領域に広げるとともに海外展開も積極的に行い、開発規模、案件数の拡大を行ってまいりました。一方、近年の映像制作業界のプロデューサー、クリエイター等の人材は逼迫しており、当初想定していたプロデュース、制作体制を十分に構築することができず、リソースの分散を招き新規 IP の育成、既存 IP の成長を鈍化させた結果、獲得する収益を固定費 (人件費、出資金償却等) が上回る結果となり、営業損失を計上することとなりました。また、当該状況について事業構造を抜本的に改革することが必要であると判断し、事業構造改善費用、減損損失及び関係会社株式評価損等の計上を行いました。

3. 役員報酬の減額について

このたびの平成 29 年 6 月期連結業績予想の下方修正という結果を真摯に受け止め、その経営責任を明確にするため、以下のとおり役員報酬の減額を実施します。

1) 役員報酬減額の内容

代表取締役 役員報酬月額の 50%を減額

常勤取締役 役員報酬月額の 30%を減額

2) 対象期間

平成 29 年 5 月から 10 月までの 6 ヶ月間

(ご留意事項)

上記の連結・個別業績予想につきましては、当社が現時点で合理的と判断した一定の前提にもとづいたものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上